



組織現況 2009年5月31日現在

組合員数 26,246 人
出資金総額 80,020 万円
一人当たりの出資額 30,488 円



とやま医療生協 虹のまち

2009年 7月号 No.315

〒931-8501 富山市豊田町1-1-8
☎076-441-8351 FAX 076-432-8031
ホームページアドレス
http://www.toyama-hcoop.com/
E-mail webmaster@toyama-hcoop.com
毎月1回発行
定価 1部30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)
発行 富山医療生活協同組合

笑顔と仲間と健康づくり 班会開催月間



▲初めてのゴキブリ団子づくりをする水橋西大町の皆さん

橋西支部
班会は楽し、西大町班ではじめての班会

六月十九日(金)、西大町班で初めての班会が開かれました。きっかけはゴキブリ団子づくりをしている川原町や中町ではゴキブリが出ないのに、「西大町では毎年ゴキブリの発生に悩まされている」と聞いたことです。運営委員会では六・七月は班会開催月間で新班作りが提起されていることもあり、西大町での班会を援助することになりました。近所の運営委員さんと協力して、地域に班会案内のチラシを配りました。班会では「ゴキブリが多くて困るちゃ。今日も小さいゴキブリみ

見えんかな〜」など話しながら、それぞれの体力と体調に合わせた距離とペースで歩きまわりました。昼食は道の駅で海の幸をいただき、落ち着いたところで再度血圧を測定しました。帰りは滑川市民交流プラザに立ち寄り、今後の班会の下見や行田公園で花しようぶを見な

◆09年 理事・監事名簿

役職名	氏名	住所
理事	青山 美春	富山市金山新桜ヶ丘
〃	池田 克己	富山市栗島町
〃	石川 丈夫	高岡市巾着町
〃	石田 利雄	富山市大山東福沢
〃	稲垣由佳子	富山市四ツ葉野
〃	茨木 克昌	富山市豊若町
〃	大西 光男	富山市犬島新町
〃	大野 孝明	富山市下新北町
〃	大村 正敏	富山市岩瀬表町
〃	岡田 美乃利	富山市水橋島等
〃	奥田 利光	富山市城中町持田
〃	尾花 幸洋	富山市高屋敷
〃	香取 龍	富山市布瀬町南
〃	北 恵子	魚津市吉島
〃	才藤 抱一	富山市宮成新
〃	子浦 章	富山市北代藤ヶ丘
〃	塩原 達夫	富山市水橋小出
〃	島 美恵子	富山市愛宕町
〃	武川けい子	富山市下野
〃	武田 正一	富山市種荷元町
〃	田中 裕	富山市豊城新町
〃	土市 隆	富山市種荷元町
〃	友船 彰	富山市高志園町
〃	林 佳子	中新川郡立山町沢端
〃	船田 和弘	滑川市泉
〃	水上 孝人	富山市豊田本町
〃	久後 正孝	富山市四方荒屋
〃	湯島 修	富山市上野
〃	与島 明美	富山市金山新東
〃	中田 幸子	富山市本郷町
〃	藤田 康雄	富山市二口町
〃	古沢 恭子	滑川市浜四ツ屋



▲海をバックに参加者の皆さん



▲満場一致で可決されました

奥田支部 小林忠義
奥田支部では班への援助として、班会計画を立てやすくするために、支部行事を年間通して企画しています。六月二十一日(日)は医療生協らしい健康づくりを意識して、魚津しんきろうロードのウォーキングを行い、十四名が参加しました。現地に到着すると血圧測定をして、いざ出発。心地よい浜風と磯の香りの中、「蟹気楼見えんかな〜」など話しながら、それぞれの体力と体調に合わせた距離とペースで歩きまわりました。昼食は道の駅で海の幸をいただき、落ち着いたところで再度血圧を測定しました。帰りは滑川市民交流プラザに立ち寄り、今後の班会の下見や行田公園で花しようぶを見な

奥田支部

しんきろうロードで健康ウォーキング

奥田支部では班への援助として、班会計画を立てやすくするために、支部行事を年間通して企画しています。六月二十一日(日)は医療生協らしい健康づくりを意識して、魚津しんきろうロードのウォーキングを行い、十四名が参加しました。現地に到着すると血圧測定をして、いざ出発。心地よい浜風と磯の香りの中、「蟹気楼見えんかな〜」など話しながら、それぞれの体力と体調に合わせた距離とペースで歩きまわりました。昼食は道の駅で海の幸をいただき、落ち着いたところで再度血圧を測定しました。帰りは滑川市民交流プラザに立ち寄り、今後の班会の下見や行田公園で花しようぶを見な

武田副理事長の開会宣言で始まり、理事会を代表して大野理事長より「来年は医療生協

の全国連合会が発足予定。また、富山診療所は六十年の節目。健康づくりの運動を更に強め、生協をいのちを守る分野にいかすために対話運動や助け合い活動にも力を注いでいこう。生協の理念を貫き発展させるために私たちが変わらなければ」と挨拶がありました。続いて、松浦県生協連会長の来賓挨拶と出席された来賓の紹介が行われました。

議事では、石川専務(2面へ続く)

第56回通常総代会 頼りになる医療生協へ

第五十六回通常総代会が、六月十四日(日)、中小企業研修センターで開催され、総代一六九名と来賓、オブザーバー、役員合わせて二六二名が参加しました。全議案が可決され、新理事も選出されました。

内視鏡

今年も、原水爆禁止世界大会へ向けた国民平和大行進に参加した▼オバマ大統領が四月に米大統領で初めて「核兵器のない世界は国家目標」と宣言。一方、五月には北朝鮮が核実験を強行。平和を求める世論への挑戦、絶対許すことができない▼北朝鮮の核実験に対して「敵基地攻撃」や「軍事には軍事」さらに「核武装論」までも。そのために日本が世界に誇る憲法九条の改定を目指すという危険な動きが▼第二次大戦中、アイシユタインは当時の米大統領宛に原爆開発進言の手紙を出したが、後に深刻に反省。そして、第二次大戦終結時に「米国は戦勝国となったが平和まで勝ち取ってはいない」と演説。一九五五年の「ラッセル・アイシユタイン宣言」で「核兵器の使用を認めず紛争解決は平和的手段」と宣誓し、これには湯川博士など九名のノーベル賞学者が賛同▼五十一回目の平和行進を若者たちが歩きながら、憲法を守りいかに草の根の運動を続けていかなければと思いを新たにした。(〇)

第56回通常総代会第1号(イ)

通常総代会決定

2009年6月14日(日)
富山県中小企業研修センター

2008年度活動のまとめ

夢をかたちに変えることを通じて、「医療生協があつてよかった、医療生協でよかった」をスローガンに、組合員と職員が協同して事業と運動に取り組んできました。しかし、世界的な同時不況が、国民のいのちとくらしを直撃し、さらに「医療破壊」とも称されるような社会保障制度の後退のなかで、富山医療生協も08年度上半期には極めて深刻な経営困難に直面しました。

そういう中で、職員と組合員が力を合わせて、事業所利用の促進と経営基盤強化と全国4課題の組織強化月間に集中的に取り組まれました。その結果、経常剰余の確保とともに、仲間ふやしと増資の年間目標の達成、過去最高の班会開催数など、事業と運動の両面で貴重な前進を果たしました。運動のなかで単独福祉制度も継続することができました。まさに、「協同の力」が、事業と運動、そして組合員と地域の健康を支えています。

2008年度 富山医療生協のあゆみ

4月	4/4~5 世界保健デーにあわせたチンドンコンクール健康相談会、4/27 地区別総代会議
5月	5/10 富山診療所開所式(100名)、通信教育修了式(23名)、5/11 8号線学習会(90名)、5/15 富山診療所健康教室(19名)、5/25 第55回通常総代会全議案を決定(259名参加・内総代165名)、5/29 富山診療所健康教室(40名)
6月	6/1 健康チャレンジャー…登録開始、6/5 平和行進…14日に石川に引継、6/6 健康サポーター養成講座、6/21 医療生協学校(呉羽ハイイツ、12支部26名、理事9名、職員16名が参加)
7月	7/6 富山県母親大会、7/26 日本母親大会(愛知~27)
8月	8/2 コープとやま共同企画・夏休み親子保健講座(17名)、8/3 富山医療生協「一日エコライフチャレンジの日」、8/4 原水禁世界大会に派遣(広島~6)、8/22 フレッシュ保健講座(6名)、8/23 ひまわり「認知症サポーター養成講座」(40人)
9月	9/6 通信教育開校式(70人)、9/8 日本高齢者大会(新潟)23名、9/12 グラウンドゴルフ富山大会(稲荷公園18チーム90人)、9/14 映画「日本の青空」、9/17 たすけっとさん交流会(22名)、9/27「セーの行動日」9/27~10/4「セーの週間」、9/28 東ブロックウォークイベント(67人)
10月	10/1 ウォークイベント(北ブロック32人・南ブロック79人)、10/5 休日健診、10/26 病院まつり(600人)、水橋健康まつり(360人)、10/31 月間ジャンプ集会(70名)
11月	11/19 医療生協9条平和ツアー(小牧基地・30人) 11/27 グラウンドゴルフ全国大会(愛知~28・11人)
12月	12/14 県民公開講演会本田宏(医療崩壊はこうすれば防げる)、12/16 300万人対話統一行動(in富山)
1月	1/10 名画展 小林多喜二原作「蟹工船」54人、1/15 認知症サポーター養成講座の修了者を対象にステップアップ講座、1/18 民医連東北陸地協「共同組織交流会」(~19日7名)、1/31 全国医療生協第2回雪の祭典(長野戸隠スキー場~2/1・11人)
2月	2/3 県生協連第10回地域協同シンポジウム、2/7 通信教育合同スクーリング、2/10 富山市と健診について懇談、2/20 ISO更新審査、2/21 囲碁将棋オセロ大会(22名)、2/24 くらしの学校(午後4回シリーズ~3/17)
3月	3/1 8号線高架化問題学習会(60人)、3/7 フレッシュ保健講座、3/8 組合員のつどい(150人)

(1) 明るいまちづくりを進め、健康で平和な社会をつくる

①地域まるごと健康づくり

- i) 特定健診の制度改定による混乱もありましたが、保健指導と連携した組合員向け「ステップアップ保健講座」などメタボリック対応に留まらない健康づくりに取り組みました。
- ii) 健康チャレンジャーは、「健チャレニュース」(2回)を発行し、組合員291名・職員22名が登録しました。しかし、日常的な班での取り組みは5班、全体の達成率は1割に留まっています。山室支部では、会費制の「えがお運動教室」を実施しました。
- iii) グラウンドゴルフ大会(90名)、ウォークイベント(3会場148名)、囲碁将棋オセロ大会(22名)を実施。「ひまわりララ」や「えがお」では事業所利用の文化サークル活動が定着しています。
- iv) 行政主催の地域の健康づくりへの参加が広がりました。(桜谷、神明、愛宕、安野屋、針原新庄、やくし、和合)学童保育や購買生協と、親子保健講座(2回44名参加)を実施しました。
- v) 全支部・事業所で認知症サポーター養成講座にチャレンジ。地域包括や長寿会と協力して、21会場で490人が修了。レベルアップをめざしステップアップ講座も開催しました。
- vi) 「たすけっとクラブ」は、利用概況96人延べ650時間利用(協力者88人)となりました。今後支部の助け合い活動との連携が必要です。
- vii) くらしの学校などで、AEDや救命救急学習会を開催しました。



▲健診準備班会



▲駅前署名宣伝行動

②社会保障の充実・地域の協同

- i) 後期高齢者医療制度廃止と高齢者健診の充実等の社保活動に取り組み、県単独福祉制度の維持やこどもへの保険証(短期)の交付など貴重な成果を得ました。
- ii) 国道8号線高架は事業化決定されましたが、引き続き計画の撤回を求める住民運動の推進にむけて、医療生協への期待と役割発揮が一層高まっています。
- iii) 「地域協同シンポジウム」をはじめ福祉活動を中心に、生協や農協・漁協・社会福祉協議会など県レベルでの連帯が強化されました。

③憲法と平和、基本的人権を守り発展させる活動。環境保全の活動

- i) 組合員の方で医療部会の平和行進「全国リレー旗」をつなぎました。
- ii) 水橋地区での地域ニュースや「音楽と映画の集い」の開催、コープとやまを会場にした支部平和について考えるつどい(富南支部)など、各地で地域9条の会や平和の取り組みが進んでいます。
- iii) 一人ひとりが身近に参加できる環境保全・環境負荷軽減として温室効果ガス削減「チームマイナス6%」に延べ2007人が取り組みました。(CO₂を121kg換算削減)

(2) 自治・参加・協同の力を活かし、事業の質を向上させる

①医療介護の質の向上

- i) 事業所利用委員会で、接遇学習会や院内巡視、ボランティア交流会など利用者評価に基づく改善に取り組みました。
- ii) 倫理委員会では、終末期だけでなく、普段のくらしのなかで如何に生きるかを問いかけ、互いに学びあう「ライフデザインノート」を完成させました。
- iii) ISO認証取得後3年目の更新審査では、積極的な評価を受けました。今後、一層のサービスの質の向上や委託の管理、内部監査の力量アップなどが課題となっています。
- iv) 健診受診や事業所ボランティア、認知症へのサポートなどの取り組みを通じて、組合員の事業活動への参加の重要性があらためて実感されました。



▲ひのび夏祭り

②職員確保と養成

再就職支援セミナーや紹介活動により、新たに14名の薬剤師・看護師が入職となりました。

③生協法改正に伴い、富山医療生協の定款を改正しました。監事会活動を強化しました

(3) 医療生協の特質を活かし、継続・発展可能な経営をつくる

①医療事業

- i) 富山協立病院では、外来患者件数が昨年実績を上回りました。外来での健診は、2次精査(保険診療)にも結びついています。透析も夜間は休止しながらも他院からの紹介も増えて昨年並みに回復し、通所リハビリも半日利用を含め利用者を伸ばしています。入院は、他院からの紹介やリハビリの件数増加等により1日平均患者数も収入も予算を達成しました。
- ii) 富山診療所の移転は、所長医師交代や院内処方への転換も重なりましたが、地域の信頼を得ながら患者利用を伸ばし、移転1年目の経常剰余予算を達成しました。
- iii) 水橋診療所では、通所リハビリの利用が伸びています。地域での家庭介護力の低下のなかで、地域のネットワークを活かした在宅医療の強化が重要となっています。
- iv) 保健予防分野では、特定健診に対する制度上の混乱もあり出遅れましたが、後半期に入り事業所からの電話がけや支部・班でのお誘いを強めました。

②介護事業

ひまわりショートスの全面稼働や訪問介護部門の統合を進め、介護(訪問・通所・短期入所)と医療の総合的なサービスを提供してきました。介護度の重い利用者も増えており、医療連携の一層の強化や事業所ボランティアや利用者紹介などの組合員参加が求められます。

③組合員の事業参加と利用促進

- i) 支部と協力して新入組合員ウェルカムパーティ(水橋西部/水診)や胃カメラ班会(富山)を開催するなど、利用促進の取り組みを進めました。
- ii) 組合員のメリットが実感できる「すこやかドック健診受診券」(57枚)を普及しました。

④地域連携

地域連携室を窓口として、地域の事業所との連携や患者・利用者の相談機能を強め、地域ネットワークの中の医療生協の事業所としての役割発揮を強化しました。



▲田村医師班会

(4) 頼りになる医療生協をつくる

①支部活動の強化

- i) 全国4課題と「300万人対話大運動」仲間増やしは、1008名(復活3名を含む)の加入を迎え年間目標を達成しました。また、対話大運動(組織強化月間中約5000件)の中で、新たに95の配付コースできました。
- ii) 理事会に「増資特別チーム」をつくり出資金と経営基盤強化の意義を訴え、職員も職場単位での取り組みを重視しました。15支部が目標を達成し、生協全体でもはじめて年間目標(8000万円)を達成しました。
- iii) 09年3月に、和合支部が2つの支部に分割結成されました。高岡地域でも支部準備会にむけた交流会が開催されました。
- iv) 班長の育成をめざして医療生協学校を開催(54名)しました。また、西部支部は校区毎の運営委員体制を持ち地域により密着した支部活動を推進するなど教訓的です。しかし、全体として班長育成は引き続きの課題となっています。

②事業所組織活動の強化

「パディ制」を発展させ恒常的な「職場地域担当制」に取り組み、班会メニューの開発、職場訪問、統一行動等を実施しました。病院の生協活動推進委員会に組織委員会理事が、またブロック支部長会議には職場推進委員が参加するなど、職員からは組合員の姿が見えるようになったと好評でした。地域や事業所の課題に共通して取り組めるブロック活動の強化が課題となっています。

③教育課題

- i) 通信教育受講を、280人(組合員124人、職員156人)が受講しました。医療生協への確信が湧いたという感想も寄せられていますが、全体の修了率は、組合員106/124(85.5%)、職員137/156(87.8%)に留まりました。
- ii) 富山民医連の「学術運動交流集会」には、組合員からも3演題が出され、職員と組合員の双方の活動の交流と相互理解促進の有益な集会成为りました。

④08年度の不明組合員による自由(みなし)脱退は、273名、出資金2,331,958円となりました

2008年度	実績	目標	前年実績
仲間増やし	1,008名 (みなし復活3含む)	1,000名	932名
出資金増やしのべ件数	88,320千円 4,941件	80,000千円	61,698千円 4,782件
班会開催回数	1,323回	1,500回	1,283回
班数	248班		227班

2008年度の活動状況



「生協をいのちの分野に活かす大運動」

健康づくり

特定健診 がん検診 組合員健診
班会・まちかど健康相談会
健康チャレンジャー、保健講座
地域健康フェスティバルなどへの積極的参加

平和と安心のまち

たすけっとクラブ(助け合い活動)、
認知症サポーター養成講座、ふれ
あいサロン、たまり場づくり、くら
しの学校、エコの取り組み、平和行
進 地域9条の会

出会う

対話大運動

出会う

役立つ事業

切れ目のない事業
●医療事業
通院、入院、往診、健診、透析、
2010年小児科再開
●介護事業
居宅支援、通所介護・通所リハビ
リ、訪問看護・介護・リハビリ、
ショートステイ、やくしの里事業化

頼りになる組織

いきいきした支部活動と支部づくり
350班で 1500回の班会
1000人の仲間づくり
8000万円の増資
学び育ちあう 医療生協人

ふれあい

「1万人に会いに行こう！」

2009年度 主な組合員活動予定 各委員会などで検討の上、変更される事もあります。

月	活動の予定	医療生協行事	◆生協連◇医療部会☆民医連★その他
3月	09年度方針骨子提案	組合員のついで(8・日) 各支部総代会	
4月	班の年間計画書の提出を進める	世界保健デーちんどんコン クール(4・土～5・日) 地区別総代会議(29・祝)	
5月	15日～がん検診・特定 健診始まる(～12/28) 24日「楽しい班づくり 班会学校」 支部運営委員会て班づ くり開催月間準備	通信教育2008年度修了式(9・土) きずな10周年行事(31・日)	
6月	班作り・班会開催月間	第56回通常総代会(14・日)	★平和行進(4・木～13・土) ★ハンセン病訴訟記念シンポジ ウム(19・金) ☆富山民医連総会(20・土) ☆民医連共同組織交流会 (長崎21・日～22・月) ◆介護事業交流会(22・月) ◆海岸クリーン作戦(28・日)
7月	健康チャレンジ	ぼぶら夏祭り(26・日) ひまわり夏祭り(26・日)	★富山県母親大会・魚津(5・日) ◇中部ブロック組合員交流会 (福井11・土～12・日) ★日本母親大会 (京都25・土～26・日)
8月	健康チャレンジ	のびのび夏まつり(22・土)	★原水禁世界大会 (長崎7・金～9・日)
9月	健康チャレンジ	通信教育09年度開講式(5・土) スタート集会(ブロックごと26・ 土) ブロック別ウォークイベント (27・日)	★日本高齢者大会 (大分14・月～15・火)
10月	組織強化虹の出会い月間	富山診療所まつり(未) 水曜健康まつり(25・日)	◆グラウンドゴルフ全国大会 (10/30・31)
11月	組織強化虹の出会い月間	富山協立病院まつり(11・日、予定) これが医療生協だコンテスト富 山予選(15・日) 組合員健康と文化のついで(未)	
12月			
1月			
2月		通信教育合同スクーリング (6・土、13:30～16:00) 虹のバレンタイン行動 くらしの学校	◇これが医療生協だコンテスト (8・月～10・水)
3月	しめくり月間	組合員のついで(7・日)	

第56回通常総代会第2号(1) 2009年度の 活動のすすめ方

“医療生協があつてよかった、医療生協でよかった” いのちとくらしの危機の中で医療生協の役割を發揮しましょう。 職員と組合員の「協同の力」で困難を打開しましょう。

かつてない経済やくらしの危機と健康破壊の中で、問題解決に向けた具体的で速やかな対応が求められます。医療生協の職員と組合員の「協同の力」で、地域の思いを解決にむけて具体的な「かたち」にして取り組みます。医療生協の魅力を心から実感できる年にしましょう。
組合員一人ひとりが、「医療生協があつてよかった、医療生協でよかった」と実感できる富山医療生協をめざし、あらためて08年度スローガンを継承し発展させます。

I 自治・参加・協同の力を活かし、事業の質を向上させる課題

- 「患者の権利章典」「医療生協の介護」の実践を通じて、事業の質の向上を図ります
 - 「章典/介護」の再学習と魅力再発見(「これが、医療生協だ!」コンクール)に取り組みます。
 - 事業所利用委員会の規程を整備し、体制の強化と活動の質を高めます。
 - 最期まで自分らしく生きるための「ライフデザインノート」(倫理委員会編)を普及します。
 - 模擬患者活動を充実させます。
 - I S Oでは、サービスの質の向上をめざし、内部監査のレベルアップ(監査方法や監査員の力量アップ、組合員監査員の育成など)をはかります。委託業務の的確な管理を進めます。
 - 2010年秋の小児科医療再開をめざした準備を、地域の子育て支援とともに進めます。
 - 高齢者にやさしいまちづくりと医療介護の事業所づくりにチャレンジして、くらしを支える地域の健康・介護力を強化します。
- 職員確保と育成に向けて、紹介活動や奨学生の取り組みを重視します
- 経済的困難者への取り組み(無料低額診療制度他)をはじめ、社会的な役割を發揮します
- 法令順守と管理能力の向上に努めます



▲子ども保健講座

II 医療生協の特徴を活かし、継続・発展可能な事業と運動をつくる課題

- 地域の医療を守る医療生協の事業を發展させます
 - 医療・介護の総合的なサービスの提供で、利用者と収益の増加をめざします。
 - 病院では、リハビリ機能や透析、糖尿病療養指導をはじめ協立病院の特徴を活かしながら利用件数増の取り組みを強化します。
 - 診療所では、地域に密着しながら医療・保健・介護福祉のネットワークの一翼を担います。
 - 介護事業では、引き続き保険制度の改善を求めながら、サービス強化と収支改善を図ります。また、組合員と共に、保険外サービスや助け合い、事業所ボランティアを強化します。
 - 「協同の力」で組合員の利用促進を進め、経営改善と揺るぎない経営体質を作り上げます。
- 地域連携をすすめます
 - 地域の医療福祉の相談・連携・情報発信窓口として、地域連携の機能強化を図ります。
 - 新「富山県地域医療計画」の遂行状況の分析を行います。
- 組合員と地域の期待に応える事業を検討します
 - 送迎や付き添いなどの助け合い活動の事業化を検討します。
 - やくしの里の事業化に着手します。
- マスメディア、ホームページ、虹のまちなど多様な媒体を通じて広報活動を強めます



▲認知症サポーター養成講座

III 明るいまちづくりを進め、健康で平和な社会をつくる課題

- いのちとくらしの守り手として地域まるごと健康づくりを進めます
 - 健診、がん検診、健康チェックを支部班の健康活動の柱に位置づけ、事業所と支部が目標と計画を持って取り組みます。
 - 健康チャレンジャーを、日常的な健康づくりとして、利用者と組合員に幅広く呼びかけます。
 - 支部で民生活用型の昼食会活動など、たまり場づくりを進めます。
 - 組合員の要求に応えた文化スポーツ行事に取り組みます。
 - 全支部事業所で認知症サポーター養成講座やAED学習会に取り組み、安心のまちづくりを進めます。
 - 自治体や社会福祉協議会、農協、県生協連などと、健康づくりに関わる「地域共同」の取り組みをさらに進めます。
 - 「たすけっとクラブ」の担い手を増やして、支部の助け合い活動につなげていきます。
- 社会保障の充実を求めます
 - 後期高齢者医療制度の廃止、高齢者医療健診、介護保険制度、県単独福祉助成制度の充実を求めます。
 - 無保険・資格証明書解消、利用負担軽減など、自治体との対話と共同で解決をめざします。
 - 事業所・支部での相談活動を強め、「孤立」をなくす取り組みを進めます。
 - 国道8号線高架化反対事業者連絡会の事務局団体としての役割を積極的に果たします。
- 憲法と平和、基本的人権と地球環境を守り發展させます
 - 「地域・事業所九条の会」の活動を全地域と事業所に広がるよう援助します。
 - 「富山大空襲跡地をめぐるウォーキング」や「平和ツアー」など、年間を通じて平和活動に取り組みます。特に若い世代に平和と人権運動の担い手を育成します。
 - 事業所での環境改善や省エネ活動に組合員も身近なところから学び広がります。



▲たすけっとクラブ

IV 頼りになる医療生協を作る課題

- 300万人対話大運動を通じて地域の声を集め、解決方法を組織的に検討し着手します
 - 支部づくりと支部分割を計画的に進めます。
 - 「班づくり・班会開催月間」(6～7月)を成功させます。
 - 全国四課題～3万人組合員をめざします。
- 事業所組織活動を交流し、強化します
 - 「パディ制」や「職場地域担当制」とともに、ブロック単位の事業所と支部の活動を重視します。
- 組合員と職員が共に学びあい、成長します
 - 通信教育は、初めての受講者も重視しながら幅広くを進めます。
 - 「医療生協人」の育成と職場教育力のレベルアップを図ります。
 - 職員と組合員で、学術運動に取り組みます。
- 富山医療生協の展望を描きます
 - 富山医療生協創立50周年に向け第4次中期計画(「2012年富山医療生協の姿」)を策定します。
 - 医療生協の社会的役割を發揮できる全国組織(全国連合会)のありかたについて検討します。

2009年度 全国4課題目標

仲間ふやし	1,000名
出資金	8,000万円
増資実人数	5,000名
班会	1,500回
配布コース	200コース
新班づくり	100班
協力者	500名
通信教育	300名



▲和合分制

貸借対照表

2009年3月31日 現在 (単位:円)

資産の部		負債及び資本の部	
I. 流動資産	893,525,872	IV. 流動負債	460,897,846
現金・預金	317,091,029	短期借入金	166,800,000
医療未収金	540,978,276	長期借入1年内償還	168,444,000
貸倒引当金△	3,760,000	短期リース債務	15,997,325
棚卸資産	18,367,432	買掛金	85,448,258
仮払金	2,767,819	未払費用	1,599,783
未収金	3,720,965	預り金	16,466,514
前払費用	14,314,416	出資預り金	4,183,915
立替金	45,935	賞与引当金	0
仮払消費税	0	未払消費税	1,244,600
II. 固定資産	2,359,079,793	未払法人税等	650,551
(1) 有形固定資産	2,209,676,638	未払い金	62,900
1. 建物	2,006,906,853	V. 固定負債	1,742,573,776
減価償却累計額△	867,816,228	長期借入金	1,110,068,735
2. 建物付属設備	1,525,430,459	組合債	166,770,000
減価償却累計額△	1,165,291,263	組合債預り金	0
3. 建物造作	0	退職給与引当金	452,649,476
減価償却累計額△	0	リース負債	13,085,565
4. 構築物	183,665,815	負債合計	2,203,471,622
減価償却累計額△	133,469,295	VI. 出資金	794,482,000
5. 医療機械	661,721,670	組合員出資金	794,482,000
減価償却累計額△	577,674,523	VII. 剰余金	254,652,043
6. 車両運搬具	0	(1) 法定積立金	43,500,000
減価償却累計額△	0	法定準備金	43,500,000
7. 器具備品	306,326,320	(2) 任意積立金	200,000,000
減価償却累計額△	264,613,756	別途積立金	138,000,000
8. 土地	505,407,696	退職給与積立金	25,000,000
9. リース資産	29,082,890	生協会館建設準備金	37,000,000
10. 建設仮勘定	0	(3) 当期末処分剰余金	11,152,043
減価償却累計額	0	前期繰越剰余金	1,450,191
(2) 無形固定資産	33,738,361	当期剰余金	9,701,852
電話加入権	0	資本合計	1,049,134,043
借地権	9,710,428		
水道加入権等	1,721,429		
パソコンソフト	6,804,939		
長期前払消費税	15,501,565		
(3) その他固定資産	115,664,794		
関係団体出資金	4,045,000		
敷金	11,107,919		
差入保証金	37,000		
奨学金	15,828,000		
保険積立金	84,646,875		
資産合計	3,252,605,665	負債及び資本合計	3,252,605,665

監査報告書

1. 監査の概要

各監事は、日本生協連の定めた生協監事監査基準に準拠して、他の監事と意思疎通・情報の交換を図るほか、監査方針等に従い、理事・職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めました。また、理事会その他重要な会議に出席し、理事・職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。そして、重要な決裁書類等を閲覧し、本部等において業務及び財産の状況を調査いたしました。このような方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿並びにこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類(貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告書等の監査結果

- ①事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類(剰余金処分案を除く)及び附属明細書の監査結果

決算関係書類(剰余金処分案を除く)及び附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2009年5月21日 富山医療生活協同組合

監事 藤田 康雄 監事 中田 幸子 監事 古沢 恭子

2008年度決算報告

《損益計算書》

自2008年4月1日

至2009年3月31日 (単位:円)

I. 【事業収入】	3,355,131,459
医療収入	2,427,167,017
外来収入	1,013,918,425
入院収入	1,268,591,476
訪問看護	42,820,152
健診収入	99,304,786
その他自費	253,694
保険査定 △	△ 2,278,484
介護収入	917,373,127
訪問看護	87,703,900
通所介護・リハビリ	479,942,730
訪問介護	106,638,489
訪問リハビリ	6,810,890
短期入所介護	92,876,771
居宅支援	80,780,075
療養指導他	18,256,685
包括支援センター	43,680,700
自費(食費他)	0
保険査定 △	△ 682,887
福祉収入	10,591,315
保育補助金	3,238,000
保育料	6,975,721
その他	377,594
II. 【事業費用】	3,269,587,508
医療材料費	365,094,839
(医薬品費)	202,851,391
(治療材料費)	127,282,354
(給食材料費)	34,961,094
一般管理費	2,904,492,669
(人件費)	2,131,033,421
(委託費)	214,021,574
(物件費)	330,098,559
(リース料)	42,902,352
(減価償却費)	186,436,763
【事業剰余】	85,543,951
III. 【事業外収益】	31,234,565
受取利息他	1,214,741
補助金収入	186,200
貸倒引当金	3,540,000
雑収入	26,293,624
IV. 【事業外費用】	85,947,734
支払利息	29,210,177
組合債利息	909,842
雑損消費税	46,081,059
長期前払消費税償却額	5,608,747
貸倒引当金繰入	3,760,000
雑損失	377,909
【経常剰余】	30,830,782
V. 【特別利益】	0
補助金収入	0
固定資産売却益	0
VI. 【特別損失】	20,628,930
固定資産除却損	19,079,520
貸倒損失	106,210
その他	1,443,200
【税引前剰余】	10,201,852
法人税等	500,000
【当期剰余金】	9,701,852
繰越剰余金	1,450,191
【当期末処分剰余金】	11,152,043

《剰余金処分》

(単位:円)

I. 当期末処分剰余金	11,152,043
II. 任意積立金取崩額	
1. 別途積立金崩額	138,000,000
合計	149,152,043
III. 当期剰余金処分額	
1. 法定準備金	1,200,000
2. 医療福祉事業積立金	147,000,000
合計	148,200,000
IV. 次期繰越剰余金	952,043

《2009年度 予算》

自2009年4月1日

至2010年3月31日 (単位:千円)

I. 事業収益	3,440,000
医療事業収益	2,430,800
介護事業収益	999,200
福祉事業収益	10,000
II. 事業費用	3,318,000
医療材料費	330,000
一般管理費	2,988,000
事業剰余金	122,000
III. 事業外収益	25,000
IV. 事業外費用	77,000
経常剰余金	70,000
V. 特別利益	0
VI. 特別損失	2,500
税引前剰余金	67,500
法人税等	27,000
当期剰余金	40,500

平和をつくる医療生協

— 平和行進で平和をアピール —

第五十一回国民平和行進「日本海コース」は六月四日朝日町を出発し、六月十三日富山県から石川県に引きつがれました。県内行進では、べ参加者約九百人、沿道署名一、六六六筆、募金約二十万円が集まりました。富山医療生協からは組合員と職員を含め約九十九名が参加しました。

広島まで歩く通し行進者の橋原秀夫さん(神奈川県平和委員会・五十九歳)が参加され、県内を力強く行進し平和をアピールされました。

今年の特徴として、六月六日の水橋到着集會に、水橋西部支部の新運営委員さんの初参加があったこと、



▲6/6(出滑川市役所を出発し富山市へ

広田支部の組合員さんが、署名・カンパに協力していただいた地域の方に折り鶴を渡して喜ばれたことです。

○九年原水爆禁止世界大会(長崎)には和合ローズ支部の篠原敏さんが代表参加します。篠原さんは「長崎大会は、初めての参加に決意を述べています。」

富山医療生協は、○九年度方針で「健康で平和な社会をつくる課題」として年間を通して平和活動に取り組みとう呼びかけています。

「地域・事業所九条の会」の活動を全地域と事業所に広げ、平和の行動を広げましょう。

地域とともに歩んで

きずな10周年のついで

五月三十一日柳町小学校にて「ついで」が行われ、地域の方々の参加約二百六十名が参加されました。

富山医療生協は市の中心部が高齢化していきなかに、地域の要求を受け止め、介護保険が施行される前に在宅福祉総合センター「きずな」を柳町につくりました。今では、なくてはならない施設として地域の方々に愛



▲会場から「温泉に行きたいわ」の声。地元サークルの民謡や踊りなどで大いに盛り上がりしました。これからも「きずな」があつて良かったと思つて頂ける施設づくり・安心のまちづくりを組合員と一緒にめざしていこうと決意を新たにしています。

五月三十一日柳町小学校にて「ついで」が行われ、地域の方々の参加約二百六十名が参加されました。

富山医療生協は市の中心部が高齢化していきなかに、地域の要求を受け止め、介護保険が施行される前に在宅福祉総合センター「きずな」を柳町につくりました。今では、なくてはならない施設として地域の方々に愛

恒例 夏まつり

みなさまのお越しをお待ちしております

お問い合わせ 組織部 076-441-8351

ひまわり 7月26日(日) 10時~14時 粟島町2-1

ほぶら 7月26日(日) 15時~17時30分 婦中町速星

09年夏休み いのちの病院探検隊 隊員募集

夏休みの自由研究にどうぞ(小学生高学年向き)

車いす体験、バイ菌をみよう など

日時 7月28日 8月4日、25日 (いずれも火曜日)

14:00~16:00まで

定員 1回あたり20名まで

申込み・お問い合わせ 医療生協組織部076-441-8351 開催日の5日前まで

グラウンドゴルフ交遊会のご案内

日時 7月22日(水) 9:30~

参加費 100円

道具は用意してありますので、動きやすい服装でご参加ください。

不要になったクラブやホールはありませんか? 交流会や大会に使用するためのクラブやホールが不足しています。ご自宅にいらなくなったものがあればご寄付をお願いします。

連絡先: 組織部(076-441-8351)まで

組合員のひろば

クロスワードパズル 5月号の解答ハガキより

健診異常なしで安心

富山市本郷 木下育夫さん

還暦を機会にPET画像と胃カメラの健診を受け異常なしの結果だったので新たなスタートがきれそうです。

平和行進はすばらしい富山市城川原 齊藤祐二さん

国民平和行進はとても素晴らしいことだと思つています。今回は参加できませんでしたが残念です。

無料法律相談のご案内

武島直子弁護士(富山中央法律事務所)

- 7月17日(金) 時間は午後2時~4時
- 8月21日(金) 予約してください
- 9月18日(金)

場所 富山協立病院地域連携室 076-444-5708

あんこも生活相談

*事前にご連絡下さい。

- 富山協立病院 随時受け付けています お申込: 富山協立病院地域連携室 076-444-5708
- 富山診療所 毎月25日(休日等の場合は変更になります) 076-420-0367

クロスワードパズル

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

転居先を必ず連絡して下さい。住所・電話番号の変更や家族の変更がありましたら生協までご連絡下さい。

★よこのカギ★

- 古道具・古美術品
- ♪○○は広いな大きな
- に灯をともし苦しい生活
- 慣例、ならわし
- 日本の通貨単位
- 改める。○○残る
- 演説や講演をする人
- 海底付近にすむ魚類
- 写真—がよい人
- 一〇〇二太郎
- 腐っても○○
- 長所の対語
- 担ぎ。—が悪い
- アウトドアの反対は○○ドア
- 欧○○化。○○草

がんばれ新人職員

富山市中田 古西康子さん

今年も多くの新入職員の方が入られましたね、ぜひがんばって、一人前のスタッフとして活躍してください。

安心な胃カメラ

富山市連町 藤井弘子さん

今年から富山市で「鼻から胃カメラ」による受診が可能とのことですね。数年前にはじめて胃カメラを飲み、先生には「上手だよ」とほめられました。それで、もう一つ、このニュースは大変ありがたいです。

【問題】 カギを解き、二重ワクに入る文字を並べ替えてできる言葉は何?

★たてのカギ★

① 講談師とも言う

② 木製玩具の一種。遊び

③ 写真—がよい人

④ 一〇〇二太郎

⑤ 腐っても○○

⑥ 長所の対語

⑦ 担ぎ。—が悪い

⑧ アウトドアの反対は○○ドア

⑨ 欧○○化。○○草

【水平のカギ】

① 古道具・古美術品

② ♪○○は広いな大きな

③ ○○○に灯をともし苦しい生活

④ 慣例、ならわし

⑤ 日本の通貨単位

⑥ ○○○改める。○○残る

⑦ 演説や講演をする人

⑧ 海底付近にすむ魚類

⑨ 写真—がよい人

⑩ 一〇〇二太郎

⑪ 腐っても○○

⑫ 長所の対語

⑬ 担ぎ。—が悪い

⑭ アウトドアの反対は○○ドア

⑮ 欧○○化。○○草

【応募方法】 パズルの解答住所氏名年齢、虹のまちの紙面や医療生協への「意見」ご要望などがありましたら併せて明記の上ハガキ、又は富山医療生協ホームページ(一面右上に記載の「お問合せメール」にて)ご応募下さい。

尚、虹のまちに掲載させて頂く事がありますのでご了承下さい。

【あて先】〒931-1850 富山市豊田町1-18 富山医療生協

【賞品】 正解者の中から五名の方に千円分の図書カードを贈呈(しめきり) 七月末日の消印有効

【五月号の解答】

ク	ハ	イ	ゴ
ウ	シ	ア	ミ
シ	マ	グ	ン
ウ	シ	ミ	ツ
キ	ン	ド	キ
キ	シ	カ	イ
セ	イ	セ	イ

ハイキング

【五月号の当選者5名】

堀井 得二(富山市中島)

岩松 峯子(立山町前沢)

稲本恵美子(滑川市稲巻)

築尾やよい(富山市布瀬町)

藤澤 愛子(富山市岩山町)

おめでとうございます